●海外ミュージシャン情報

AMERICAN RANDOM NOTES

ROCK SCENE EXPRESS

1 ジョー・ウォルシュ

武道館ニーサンタネカンコート

アメリカンロックシーンのヒーロー、ジョー・ウォルシュが日本武道館で5モデルのトーカイレクトリックギターを使用して、ファンキーなウエストコーストサウンドを聞かせてくれたのも記憶に新しい……その後なんと、ジョーのサンダーバードのコンサートの最新情報によると本場うえ、ヤンキー、ヤンキーと、ロックキッズなどオーディションにかけたが、それはヤンキー・ウォルシュのオリジナルのオンフェルダーとエクト、トーカイをメインギターとして使用、ヤンキーの大かっさい、を受けようラナ、ビーカーに聞けなくなかもっ……ちなみにジョー・ウォルシュの日本公演をむモデル（各人のモデル）を依頼したいものでしょう、ヌファフ……。ちなみにジョー・ウォルシュの使用ギターは5200V・VF、彼のお気に入りのST100-BL、LS100S-ORそしてTE120-N、ST80-FORだ。

2 イアン・ハンター

ニューヨークでキャッチ、エンドースメント成功トーカイオリジナルモデルを使用

イアン・ハンターと、えば超変態の巴型や円型のギターを使用し「モット・ザ・フーアル」のリードボーカリストとして有名であったがホームグランドのイギリスを離れ、現在はニューヨークで活躍中、となると転んでもタダで起きないトーカイモニター班、しっかりとニューヨークのオフィスを急襲、オリジナルエクスポートモデルのなかから、彼がセレクトしたのが写真のモデル、その上、やはりまるした超変態ダブルネックギターであります。近々、デザインときたら日型ダブルネックギターであります。近々、ステージでそのドギモを抜くサウンドがきけるゾ……。TOSHIBA・最近のサウンドは「双璧のアウトサイダー」ミック・ロンソン、エレン・フォーリー、ミック・ジョーンズ、トッパー・ヒードン等の豪華な顔ぶれをみても、いかに凄いアルバムか想像できるというものだ。必聴の価値充分！

3 ミック・ロンソン

久々の登場です、ブリティッシュロック界の雄

イアン・ハンターとくれば、当然ミック・ロンソンの登場だ。デヴィッド・ボウイーのバックギタリスト兼アレンジャーとして活躍、「モット・ザ・フープル」でイアン・ハンターとともにブリティッシュロック界の一翼をになったがイアンとともに脱退。最近では'76年、ボブ・ディランの「ローリング・サンダー・レヴュー」に参加して話題となった。現在はやはり、ニューヨークで活躍中、トーカイTX・130をめざとく見つけて離さない。「やっぱり、この人、ギターのはんとうの良さがわかるプロフェッショナルなんだなあー」。このギターのトライアングルスルーネックがいたく独創的と評めており、こちらいささか、こそばゆいかぎりもちろんサウンドおかいちばん気に入っていることはいうまでもなかが……。ますますがんばってすばらしいオリジナルギターをつくらねば。

4 エドウィン・マルチネス

ニューヨークジャズ界にあらわれた期待の新星

'81年ライブ・アンダー・ザ・スカイのクラーク・デューク・プロジェクトのギタリストとして初来日したエドウィン・マルチネス、天才ベーシストスタンリー・クラークがうずかう選ただけあってそのテクニックは凄いの一語。その上、ボーカリストとしてもなかなかいけており自分の愛器'84年モデル、'58年モデルとビンテージモデルを含む所有してみてもトーカイのST80・GSとST50・BBはパーフェクトと絶賛、早速コンサートでスタンリーとのコンビネーションをきかせてくれた。本人によるとローリングストーンズ、あのローリングストーンズですゾ……。——のツアーにも参加するという話しもあるらしい。いまや世界のTOKAIとしてワールドステージをサポートする時代がきたようだ。

5 リック・ニールセン

オールドギターコレクターとして有名なリックはやはりトーカイをご愛ご

今さら説明する必要もないこの人、リック・ニールセン。オールドギターのコレクターとしては多分、世界のミュージシャンのなかでNo.1に違いない。その彼がチープトリック日本公演の際トーカイトラモタスタンダードモデルを手に入れたのは前のカタログで先刻ご承知のハズ。そこまではまだにこにこしていられるような事態の話しだが、その上切なく1本がニューヨークで見事、盗まれてしまったから、さあ大変、あちこちから八方手をいろいろと考し、小切手とともに製作依頼をしてきたが、なかなかうまくいかず、ついに3本オーダーすれば最初のなかから、彼がセレクトしたのが写真のモデル、その上、やはりまるした超変態ダブルネックギターであります。近々、ステージでそのドギモを抜くサウンドがきけるゾ……。TOSHIBA・最近のサウンドは「双璧のアウトサイダー」ミック・ロンソン、エレン・フォーリー、ミック・ジョーンズ、トッパー・ヒードン等の豪華な顔ぶれをみても、いかに凄いアルバムか想像できるというものだ。必聴の価値充分！

6 ジミー・パーソンズ

ニューヨークのジミー・パーソンズ、ヘビーメタルシーンでトーカイ愛用

7 ニコラス・モロック

'80年代ロックシーン東日日の若手ギタリスト

8 ヘルキャッツ

ニューヨークロックシーンに旋風をまきおこす話題のニューグループ。

リッチー・ランノ（RICHIE RANNO：GUITAR）ピーター・スカンス（PETER SCANCE：BASS）いまニューヨークロックシーンで注目を一身にあつめている話題のニューグループ、ヘルキャッツ。もともとスターズとしてデヴューしメンバーチェンジを経て現在のグループとなる。小気味よいそのロックンロールサウンドはニューヨーク子の間で評判となっている。ギターのリッチー・ランノはトーカイTE70・GSを、ベースのピーター・スカンスはトーカイオリジナルTXB・130をそれぞれ愛用している。「ライブミュージシャンにとって自分の身体の一部となるようなギターって欲しいもんだ。ネ」と笑いながら語ってくれるリッチーの力強い言葉にニューヨークまでさわがしいがあったと感激した地獄篇（ヘルキャッツ）は、いまニューヨークロックシーンをかえようとしている、DON'T PERORIAN !! だって…？。

OTHERS

世界は広い、トーカイ愛用者は後をたたない……。